

<研究テーマ>

遊びに生きる子どもを育む ～遊びの育ちを追いながら～

1年次、2年次の研究の取り組み

子どもの遊んでいる姿ってどんな姿？

スキップで移動している

友達とタイミングを合わせてこまを回している

ブランコに乗っている

友達の遊びを見ている

隣のクラスから歌が聞こえてきたら一緒に口ずさむ

砂場で友達と一緒に山をつくっている

記録の検討

1年次

2019年度 5歳児 空組 1月 2 2日(水)の記録と翌日の環境構成	予想天気(晴)
<p>9:18 一人の遊びの進行</p> <p>9:20 友達と遊ぶ姿</p> <p>9:25 友達と遊ぶ姿</p> <p>9:30 友達と遊ぶ姿</p> <p>9:35 友達と遊ぶ姿</p> <p>9:40 友達と遊ぶ姿</p> <p>9:45 友達と遊ぶ姿</p> <p>9:50 友達と遊ぶ姿</p> <p>9:55 友達と遊ぶ姿</p> <p>10:00 友達と遊ぶ姿</p> <p>10:05 友達と遊ぶ姿</p> <p>10:10 友達と遊ぶ姿</p> <p>10:15 友達と遊ぶ姿</p> <p>10:20 友達と遊ぶ姿</p> <p>10:25 友達と遊ぶ姿</p> <p>10:30 友達と遊ぶ姿</p> <p>10:35 友達と遊ぶ姿</p> <p>10:40 友達と遊ぶ姿</p> <p>10:45 友達と遊ぶ姿</p> <p>10:50 友達と遊ぶ姿</p> <p>10:55 友達と遊ぶ姿</p> <p>11:00 友達と遊ぶ姿</p> <p>11:05 友達と遊ぶ姿</p> <p>11:10 友達と遊ぶ姿</p> <p>11:15 友達と遊ぶ姿</p> <p>11:20 友達と遊ぶ姿</p> <p>11:25 友達と遊ぶ姿</p> <p>11:30 友達と遊ぶ姿</p> <p>11:35 友達と遊ぶ姿</p> <p>11:40 友達と遊ぶ姿</p> <p>11:45 友達と遊ぶ姿</p> <p>11:50 友達と遊ぶ姿</p> <p>11:55 友達と遊ぶ姿</p> <p>12:00 友達と遊ぶ姿</p>	<p>☺は遊びの「楽しさ」、「おもしろさ」を感じていること</p> <p>☹は遊びが楽しくならなかった要因</p> <p>▲は、翌日の環境構成や教師の援助</p>

2年次

2020年度 4歳児 森組 11月13日(金)	予想天気(雨時々曇り)
<p>9:18 一人の遊びの進行</p> <p>9:20 友達と遊ぶ姿</p> <p>9:25 友達と遊ぶ姿</p> <p>9:30 友達と遊ぶ姿</p> <p>9:35 友達と遊ぶ姿</p> <p>9:40 友達と遊ぶ姿</p> <p>9:45 友達と遊ぶ姿</p> <p>9:50 友達と遊ぶ姿</p> <p>9:55 友達と遊ぶ姿</p> <p>10:00 友達と遊ぶ姿</p> <p>10:05 友達と遊ぶ姿</p> <p>10:10 友達と遊ぶ姿</p> <p>10:15 友達と遊ぶ姿</p> <p>10:20 友達と遊ぶ姿</p> <p>10:25 友達と遊ぶ姿</p> <p>10:30 友達と遊ぶ姿</p> <p>10:35 友達と遊ぶ姿</p> <p>10:40 友達と遊ぶ姿</p> <p>10:45 友達と遊ぶ姿</p> <p>10:50 友達と遊ぶ姿</p> <p>10:55 友達と遊ぶ姿</p> <p>11:00 友達と遊ぶ姿</p> <p>11:05 友達と遊ぶ姿</p> <p>11:10 友達と遊ぶ姿</p> <p>11:15 友達と遊ぶ姿</p> <p>11:20 友達と遊ぶ姿</p> <p>11:25 友達と遊ぶ姿</p> <p>11:30 友達と遊ぶ姿</p> <p>11:35 友達と遊ぶ姿</p> <p>11:40 友達と遊ぶ姿</p> <p>11:45 友達と遊ぶ姿</p> <p>11:50 友達と遊ぶ姿</p> <p>11:55 友達と遊ぶ姿</p> <p>12:00 友達と遊ぶ姿</p>	<p>▲：前日の子どもの姿を見て考えた教師の援助や環境構成</p> <p>○：考察(教師の援助、環境構成によってどのように遊びが広がったり深まったりしたか)</p>

遊びの経過や、遊んでいる子どもの姿を読み取るためには、日々の記録が大切であることを話し合い、遊びの中の具体的な姿を「マップ型記録」に記録することにしました。また、「楽しさ」や「おもしろさ」を感じていること、翌日の環境構成や教師の援助などを記載することで、記録したことを明日につなげられるように工夫しました。

教師の心の動きや援助が分かるように、保育の中での教師の援助や環境構成をより具体的な言葉で記入し、波線を引きました。教師の援助や環境構成から、どのように遊びが広がったり、深まったりしたのかを考察することで、記録したことを明日の保育へつなげられるように工夫をしました。

3年次の研究の取り組み

3年次の研究の進め方について考えよう

「遊びの育ち」「子どもの育ち」について、再度、共通理解しよう

「遊びの育ち」から「子どもの育ち」を捉えていこう

研究の視点

- ・遊びの育ちを具体的に探る
- ・遊びが広がったり、深まったりする中での子どもの育ちを捉える
- ・教師が「遊び」や「遊びの楽しさ」について知る

動画や写真をもとに、遊びや子どもの姿について話し合おう

「子どもの育ち」を捉えることができる記録の在り方について学ぼう

教師も実際に遊びながら教材研究をしていこう

実際の進め方は・・・？

保育実践

日々の記録

・教師の援助や環境構成によって、遊びや子どもの姿が変容したことを捉え、「遊びの育ち」から「子どもの育ち」を考察して記録する。

実践事例検討会

・「遊びの育ち」や「子どもの育ち」を捉えるための記録について検討する。

園内研修会

- ・一つの遊びに視点を当て、「遊び」や「遊びの楽しさ」を知るための研修を行う。教師も実際に遊んでみることで、その遊びの楽しさを感じたり、考えたりする。また、子どもが遊んでいる場面の写真や実際の遊具をもとに、遊びの環境構成や教師の援助、配慮について、意見を出し合いながら教材研究を行う。
- ・公開保育を参観している教師が、子どもの遊びの姿からおもしろさを感じた場面や子どもの姿を中心に動画を撮影し、協議では共通の場面を捉えながら、子どもの姿を読み取り、話し合う。

保育内容の発信

- ・運動会、展覧会、発表会などの行事に至るまでの日々の遊びの積み重ねや、保育のねらい、子どもの育ちの様子などを写真や子どもの言葉などを用いてドキュメンテーションを作成し、保護者に向けて発信する。
- ・作成する中で保育を振り返り、遊びの中での子どもの育ちを捉えるようにする。

研究の内容

新たな園内研修会の内容の工夫

今年度は、「遊び」や「遊びの楽しさ」を知るために、園内研修を学年ごとに担当し、研修内容をそれぞれで考えるようにしました。大まかな内容としては、「子どもが遊んでいる姿をもとに『遊び』や『遊びの楽しさ』について意見を出し合う」「子どもの遊びを写真や動画などで提示して、その姿に対して意見交換する」「教師が実際に遊びを体験する」「遊びの環境について考える」というものでした。

ままごとの環境について考える

感触が気持ちいいね

遊びの雰囲気を生かした片付け方がいいよね

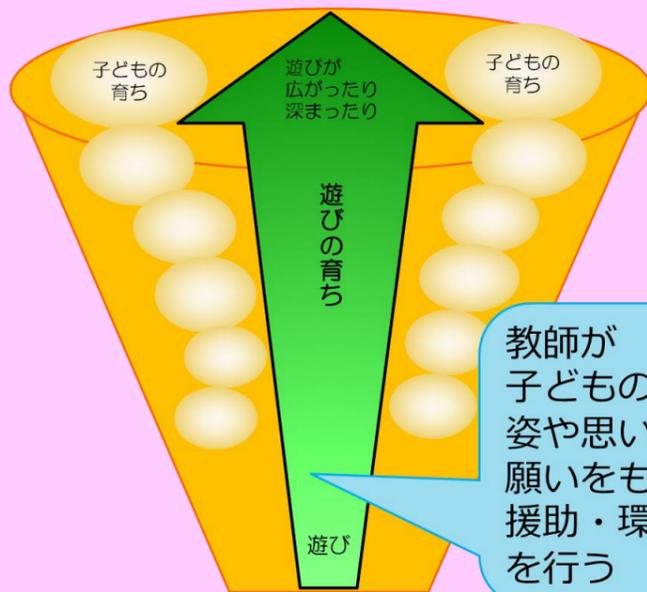
年齢によって遊び方の違いが見られるね

砂場での遊びについて話し合う

これ、楽しい!

いろいろな水遊びを体験する

「遊びの育ち」「子どもの育ち」とは?



教師が子どもの遊びの姿や思いを捉え、願いをもって援助・環境構成を行う

研究を進めるにあたり、「遊びの育ち」「子どもの育ち」について、再度、共通理解をしました。教師が、子どもの遊びの姿や子どもの思いなどを捉え、願いをもって環境構成や援助を行うことで遊びが広がったり、深まったりしていくその過程が遊びの育ちであると捉えました。そして、遊びの育ちの中で、様々な子どもの育ちが見られるのではないかと考えました。

実践事例の検討

今年度は、「遊びの育ち」や「子どもの育ち」を捉えるために幼児の遊びの姿を記録しました。実践事例の検討会では、遊びをより深く探ることができるような方法を考え、実践しました。

事例検討会の様子

事例検討会を行う前に…



事例を読んで感じたことを付箋に書き、ホワイトボードに貼ってみよう。

検討会では、付箋に書いていることを中心に、事例を記入した教師に質問し、話し合いを進めました。

B児は日頃はどんな遊びが好きなの?

- ・教師の援助をした時の思いは?
- ・子どもの普段の様子は?
- ・この場面の子どもの様子をもっと聞きたい
- ・この場面の遊びの様子をもっと聞きたい

各教師が事例についてもっと知りたいと感じたこと、質問したいことを記入し、持ち寄りしました。一枚の付箋に一つの項目を記入することで、グループ分けや同じ質問をまとめる際に行いやすくなりました。

A児の様子に気付いているね

年少Ⅱ期「水で遊ぶ姿を通して」

この姿になるまでの過程が面白いね

この言葉を使ったきっかけは?

すべり台の構造をどうやって気付かせていく?

写真があると分かりやすいね

A児とB児が確かめている時のC児の様子は?

年長Ⅰ期「大型積み木の遊びを通して」

年中Ⅱ期「ジュースづくりの遊びを通して」

話し合った内容は黒色で、「遊びの育ち」「子どもの育ち」を見出したところは橙色で記入することで、話し合った内容が視覚的に分かるようにしました。

事前に各教師が事例を読んで感じたことを付箋に記入しておくことで、一人一人が考えをもちながら話し合いを進めることができました。また、事例を記入した教師に思いや状況を聞きながら遊びの一つ一つの場面について詳しく話し合い、意見を出し合うことで、子どもの育ちをより深く理解することができました。

遊びの育ちを追って（3歳児）

子どもが遊びの楽しさ、おもしろさを感じている姿を子どもの言葉で

教師の思い・願い

環境構成・再構成・教師の援助

遊びの育ちの捉え

遊びの育ちの中での子どもの育ち

水で遊ぶ姿を通して（Ⅱ期）

今日も水のすべり台しよう

水のすべり台、もっと長くしよう

えー、水、出なくなっちゃうよ

・樋が倒れない方法を具体的に知らせる

・この遊びをまたしたいという思いをもつ
・自分のやりたいことを自分でしようとする

うーん、倒れる。うまくいかないな

自分で方法を考えているので、しばらく様子を見守ろう。遊びが続くように、タイミングよく声掛けをしよう。

・湧水が湧くように砂が動きながら水が溢れ出てくる様子を見せる

わあー、すごい！

自分でもやってみようとしてほしい。何度か教師が埋めたら、役割を交代するように投げ掛けてみよう。

・幼児の注意を促してから教師が勢いよく水を流す

水が流れてきた時の砂の動きのおもしろさを知ったことで、単に水を流すだけでなく、ペットボトルの先を埋める砂の量や流す水の量や勢いの違いを意識しながら遊ぶようになった。

・繰り返し遊ぶ中で、遊びのおもしろさに気付く

あれ？出てこない？

出てきたー

もう一回やろう！

水を流すことに楽しさを感じられるようになり、教師以外の相手とも楽しさを共有しながら遊ぶようになった。

・友達と一緒に遊ぶ楽しさを知る

好きな遊びが思い出せるような言葉掛けをした後、興味が続くように一緒に遊び始めよう。

・登園時、具体的に遊びが思い浮かぶように声を掛け、身支度が終わるのを待って、一緒に砂場に遊びに行く

ままごとを通して（Ⅰ～Ⅳ期）

いっぱい集めよう

これは何かな？

ままごとでは、生活を再現したり、身近な大人を模倣したりしながら、見立てることを楽しんでほしいな。

・色や形を元に、見立てることのできる素材を取り入れる
・調理の過程をイメージできる道具や、適した容器を用意する

戸外にも、ままごとの場を整えてみてはどうだろう。今、親しみをもって関わっている自然物をごちそうに見立てられるようにしてみよう。

入園当初より、教師が構成した幼児の実態に応じた環境の中で、自分なりに様々な素材を見立ててごちそうをつくる遊びを繰り返してきた。そのような遊びの積み重ねは、自分がイメージするものや場を、自分で作り出して遊ぶということにつながった。

・自分なりの思いやイメージをもって、自分でつくって遊んでみようとする

・緩やかに囲われた場に、戸外のままごとの場を設える
・幼児が扱いやすい大きさの本物の道具を用意する
・自然物や砂、水を見立ててままごとができる環境を構成する

カレーだよ！もうすぐできるよ！

この葉っぱをケーキのトッピングしたい！

クリスマスケーキのトッピングしよう！

クリスマスパーティーにはキラキラの飾りがいるの

何つくってるの？

様々なものを見立てたり、場面をイメージしながら遊んだりすることを繰り返し楽しんだことから、自分なりの思いをもったり、イメージを広げたりしながら見立てることを楽しむ遊びにつながった。

・自分なりの思いやイメージをもって遊ぼうとする
・遊びに必要なものを自分で選んだり、探したりして遊びに取り入れようとする

クリスマスパーティーの場を設えるために、砂場の型押し遊び具をキラキラのライトに見立てたのは、おもしろい発想だなあ。しばらく様子を見守りながら、A児の思いやイメージを見取っていきこう。環境構成は最低限にして、A児が自分で、遊びに取り入れたいと思うものを探したり、見つけたりしながら遊んでいってほしいな。

遊びの育ちを追って（4歳児）

子どもが遊びの楽しさ、おもしろさを感じている姿を子どもの言葉で

教師の思い・願い

環境構成・再構成・教師の援助

遊びの育ちの捉え

遊びの育ちの中での子どもの育ち

ジュースづくりの遊びを通して（Ⅱ期）

色の違いや変化を楽しめるように、2色の色水を用意しておく



レモンジュース
みたいだな

それぞれ自分のジュースをつくることを楽しんでいるので、それを使ってやりとりが生まれるといいな。



僕もペットボトルを
浸けてくんでみよう

B君はまだ三輪車に乗れないが、A君に誘われたことが嬉しく、同じようにしたいという思いから、乗り物や持ち物を真似て、ジュースを運んでいるのだろう。



いいね

B君、ジュース
飲みに行こう

A君みたいに
運びたいな

こぼれちゃった
から入れ直そう



ジュース屋さんのイメージを広げたり、やりとりを楽しんだりできるように、教師がお客さんになって遊びに加わる

- ・繰り返しやってみようとする
- ・自分なりに色水の量を調整し試行錯誤する
- ・友達の遊びの楽しさやおもしろさに共感する
- ・友達の姿を真似てやってみようとする

自分なりに色を混ぜて違う色をつくらったり、できた色からいろいろな味のジュースをイメージし、見立てて遊んだりするようになった。教師がお客さんになることで、注文を聞いたり、つくったジュースのことを伝えたりして、やりとりを楽しむようになった。

ジュースがこぼれると、すぐに戻って入れ直している。A君と一緒に飲みたいという思いがあるからだろう。

またこぼれちゃった…



自分の気持ちと向き合おうとしている姿を見守る

はい、ジュース。
2人のジュース

あと少しの所でまたジュースがこぼれてしまったので悔しい気持ちが強いのだろう。今までなら泣いていたが、空のカップで椅子をトントンと叩きながら、気持ちを落ち着けようとしている。すぐに声を掛けずに2人がどうするか見守ってみよう。

- ・自分の気持ちと向き合い、落ち着いたり、切り替えようとする
- ・友達の気持ちに気付き、寄り添おうとする

A君と一緒に飲んで飲んだことが楽しく、もう一回したいという思いになったのだろう。B君はA君のその言葉が嬉しかったのではないかと。一緒に遊ぶ楽しさを感じている2人の関係を見守りながら、支えていきたい。



もう一回
くんでくるね

何で？

そうなの～？

もっと飲み
たいも～ん

つくったジュースを乗り物に乗せ、いろいろな所に運んで飲んだり、配達をしてジュース屋さんごっこをしたりして遊ぶようになった。

- ・友達と一緒に遊ぶ楽しさやおもしろさを感じる

砂場での遊びを通して（Ⅲ期）

「年長児より高い山をつくりたい」という思いが今日も続いてほしいな。遊びが継続することで、友達との関係が深まるといいな。



続きしよう！

- ・昨日の続きができるようそのままにしておき、登園時には、続きをしようと思えるように声を掛ける

（湿った砂の）山に
サラ砂を掛けて、硬
い山にしよう



僕もやってみよう

それぞれが、「高い山にしたい」「硬い山にしたい」という思いをもって遊び始めているので、見守ることにしよう。

教師がすぐに手伝うのではなく、「年長さんより高い山をつくらう」という共通の目的をもち、友達と一緒にする時間を保障することで、自分の思いを出したり、友達の思いを受け入れたりしながら砂山をつくる遊びへとつながった。

どっちが高いか
比べてみよう



「もっと〇〇しよう」と思えるよう、一人一人の思いに共感する

- ・友達と同じ目的をもって遊ぶ
- ・友達の考えに共感し、真似てみる
- ・湿った砂、サラ砂、砂の硬さなど、砂の性質に気付く
- ・高さを感じ、比べようとする

「もっと大きくなってきた」と感じられるよう教師が砂山づくりを手伝うことで、刺激になってほしいな。



先生、手伝って

- ・遊びが停滞したと感じた時には、遊びが続くよう教師も一緒に遊び、山づくりを手伝う

継続して遊べるように援助することで、川やトンネルをつくる遊びへと広がった。翌日も友達と砂場へ遊びに行く様子からも、友達と力を合わせてつくった山を「自分たちの山」と感じ、友達と安心して遊べる遊び、場所となった。

つなげて川に
しよう！



うん。水、流すね

トンネル
つくろう



明日も
しようね！

こっちから
も掘るよ

遊びが変わったが、ここで遊び続けている姿から、この友達と一緒に遊ぶことを楽しんでいるように感じる。友達と存分に時間を保障しよう。

- ・思いや考えを出し合いながら遊ぶ
- ・友達の思いを受け入れる
- ・継続して遊ぶ

遊びの育ちを追って (5 歳児)

子どもが遊びの楽しさ、おもしろさを感じている姿を子どもの言葉で

教師の思い・願い

環境構成・再構成・教師の援助

遊びの育ちの捉え

遊びの育ちの中での子どもの育ち

大型積み木の遊びを通して (I期)

前日の遊びの姿



滑り台づくり、明日もしよう

昨日より高い滑り台をつくりたいな

高いところ上るために階段をつくろう

上へ上がってみたけど、ちょっと高さが高すぎて怖いわ

背の高さくらいがいいんじゃないかな

じゃあ、上の積み木取ってもいい?

いいよ

積み木をどんどん積み上げることが楽しいようだ。実際に滑れるような高さに気付けるように言葉掛けをしよう。また、自分の思いだけで作り変えようとする姿も多く見られる。友達に考えを伝えたり、友達の考えに気付いたりできるよに投げ掛けていこう。

- ・高さに気付けるような促し
- ・友達と目的を共有できるような言葉掛け
- ・言葉で思いを伝え合うことができるような言葉掛け

昨日、滑り台で遊んで楽しかったという思いが今日の滑り台をつくりたいという思いにつながっているのだろう。昨日より高い滑り台をつくりたいようだ。どのようにするのか、見守ろう。

- ・子どもがどのように遊びを進めていくか見守る

高すぎて一枚の板じゃ届かない

昨日は一枚で滑り台ができたが、高くしたことで一枚では滑り台が完成しないようだ。子どもたちが考えたり、試したりする姿を見守ろう。

- ・自分たちで試したり考えたりしながらつくろうとする姿の見守る

2枚つなげてみよう

滑るところ、もう少し広くしよう

下に積み木も入れよう

危ないから、テープで貼ろう

昨日、滑り台で遊んで楽しかった思いが、次の日も滑り台をつくりたいという思いにつながった。昨日と同じ滑り台ではなく、より高い滑り台をつくりたいという目的を友達と共有し、友達と思いを伝え合いながら取り組む遊びになった。

- ・昨日の遊びを継続して行おうとする
- ・友達と一緒に目的をもって取り組む
- ・試したり、考えたりする
- ・友達と思いを言葉で伝え合う

一回滑ってみよう

やった、最後まで滑れた

ここでチケット渡すことにしよう

滑り台ができたあがったことで、違う遊びをしている子どもも滑りたいとやってきた。チケットなど、遊びに必要なものを考え、つくる場を整え、見守ろう。

- ・遊びに必要なものをつくる場を整える

滑り台が完成し、たくさんの友達が滑りたいとやってきたことから、チケットをつくり、滑り台屋さんへの遊びへとつながった。

- ・生活での体験を遊びに取り入れる
- ・必要なものを考え、遊びに取り入れる
- ・必要な役割を考え役割に分かれて遊ぶ

お化け屋敷遊びを通して (III期)

前日の遊びの姿



お化け屋敷をつくりたいな

いろいろな友達の姿に気づき、同じ思いをもっている友達と遊ぶことの楽しさや、一つの目的をもって遊ぶことのおもしろさを味わってほしいな。

友達の姿や思いに気づき、友達と一緒に目的をもって遊べるともっと遊びが楽しくなるのではないかな。

- ・クラスの友達にも、自分たちの遊びを知らせることを提案する



中に入るよりもつくるのが楽しいな

これを使ってお化けをつくろう

もっとつなげよう

中に入って遊ぶことも楽しんでほしいな。でも今はつくることを楽しんでいるからつくる姿を支えながら、遊びの変化を探ってみよう。

- ・教師が、幼児のつくっているお化け屋敷は小さくて入ることができないことを知らせる

おもしろそうだな

もっと大きくしよう

ここに黒い袋を貼って暗くしよう

お化け屋敷が作りたいたんだ

つなげたいな

このままがいいな

つなげたらもっと楽しくなりそう

友達と思いが違う時には、自分たちで話し合ったり、折り合いをつけたりして、どうしたら遊びが楽しくなるのかを考えてほしいな。

- ・自分の思いを伝え合いながら話し合う姿を見守る

「みんなでお化け屋敷をつくりたい」「お化けをつくりたい」「中に入りたいたい」など共通の思いをもち、考えたり試したりする楽しさを感じた。共通の思いをもつことで、友達と思いを伝え合ったり、協力したりしながらつくりあげる遊びとなっていった。

- ・遊びに必要なものをつくり、繰り返し試したりする
- ・互いに納得できるまで相談する
- ・ものの形や性質などに興味をもち、遊びに取り入れる
- ・友達と一緒に目的をもって取り組む
- ・集団の中で自分の役割に気付く

いらっしやいませ



ここにお化けを描いてみよう

チケットを持ってきたよお化け屋敷に入りたいたんだ

いろいろな人に見てほしいという思いをもつことで、友達や先生を招待することを楽しむ遊びとなっていた。

- ・興味、関心をもったことに継続して取り組む
- ・生活での体験を遊びに取り入れる
- ・友達と一緒につくり上げたことへの達成感

研究のまとめ

遊びとは？

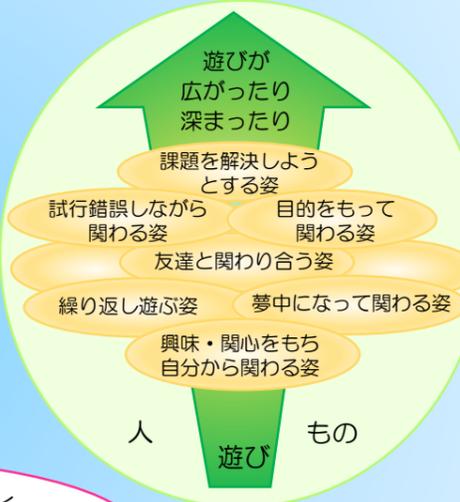
園生活では様々な子どもの遊びの姿がある

すべて子どもにとって遊びである

幼稚園という集団生活の中で、人やものに関わることで、広がったり深まったりしていく遊びを支えていきたい

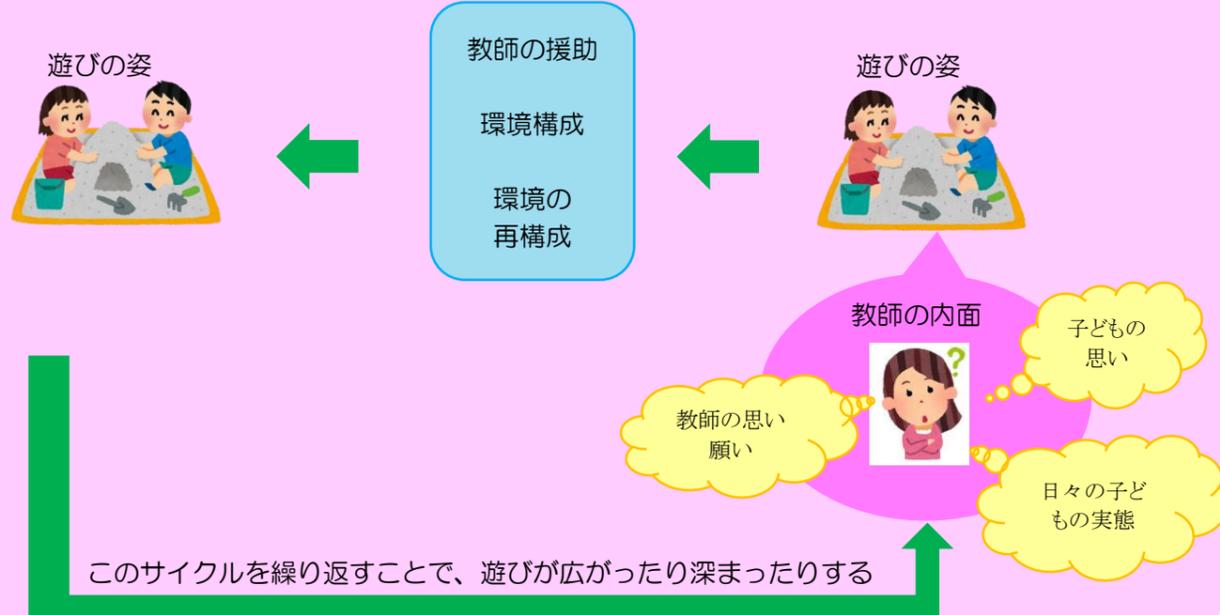
遊びは人やものなどの環境と関わるときに生まれる

遊びが広がったり深まったりしていく中で、様々な子どもの育ちが見られるようになる



遊びが広がったり深まったりするための教師の援助や環境構成

教師が子どもの遊びの姿に出会った時、教師の内面では、「子どもはどんなことを楽しんでいるのだろう」「どんな思いをもっているのだろう」などの子どもの思いや、「これまでの友達との関わりはどうだったかな」「これまでの遊びの姿はどうだったかな」などの日々の子どもの実態を捉え、「こんな姿につながってほしいな」「こんな思いをもっとほしいな」と教師の思いや願いを考えます。そして、数ある援助や環境構成の中から、子どもの次の姿につながるような教師の援助や環境構成を、時には迷いながら、考え行なっていきます。このサイクルを繰り返すことで、遊びが広がったり深まったりするのではないかと考えます。



遊びに生きる子ども

僕たちはゴールテープを持つね

どうすれば船の舵ができるかな？

できた！

友達と同じ目的をもってつくりあげようとする

僕はスタートの合図をするよ

自分たちで遊びを進めようとする

ペットボトルを付けてみる？

私もやってみよう

遊びの中で育まれた「課題を解決しようとする姿」「夢中になって関わる姿」・・・などが今後の生活に生きてくると考えられる。

遊びに生きる子ども

一人の子どもの育ち

広がったり深まったりする遊び

今後に生きてくる姿

広がったり深まったりする遊び

やったあ！こまが回った！

繰り返しやってみようとする

もっと長い川にしよう

いっぱい付けてみよう

僕が水を流すね

友達と思いを伝え合う

先生、食べて！はいどうぞ

おいしいね

じっくりと好きなものと関わる

安心して自分の思いを出す

遊びの中で育まれた姿が今後の生活に生きてくるという体験を繰り返すことで、「遊びに生きる子ども」も少しずつ育まれていくのではないかと考えました。

3年間の研究を通して

遊びに生きる子どもを育むためには・・・

子どもの遊びの姿や子どもの思いを教師が丁寧に捉え援助や環境構成を行うことが、遊びの育ちや子どもの育ちにつながる。

子どもの育ちを保障することが、今後生きてくる姿につながり、遊びに生きる子どもを育むことができる。

今後は…

子どもの遊びの姿や子どもの思いを丁寧に捉え、
教師が願いをもって援助や環境構成を行いながら、
遊びに生きる子どもを育む保育を進めていきたいと思ひます。